

# 小学校 第5学年 外国語科 学習指導案

北海道旭川市立愛宕東小学校  
主幹教諭 布施 朋子

## 単元名

Lesson 8 Where is the station? (7 時間)

単元の  
ねらい

町の地図をつくるために、店や施設などの場所や行き方について聞き取ったり、伝え合ったりすることができる。また、例を参考にして場所をあらわす語句を書いたり、アルファベットの小文字を書いたりすることができる。（2階建ての文字）

本時の  
ねらい

位置を表す言葉（前置詞）を使った場所の言い方に慣れ親しむ。（第2時）

## 指導時期

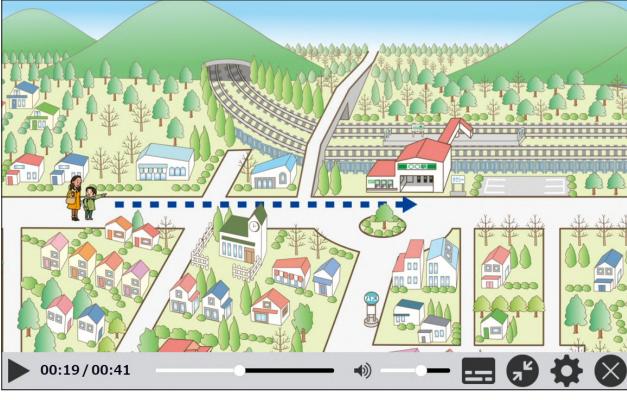
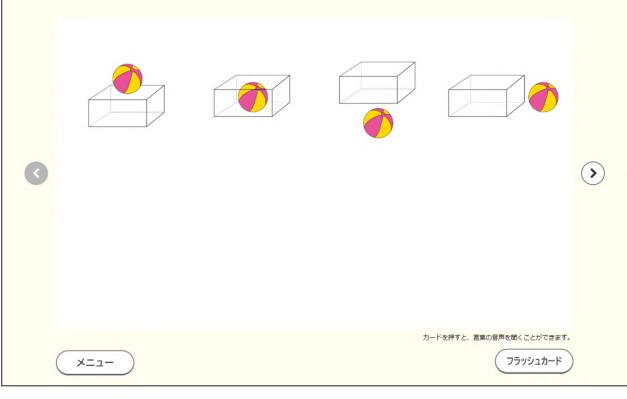
1月～2月頃

## 指導者用デジタル教科書（教材）活用の意図・目的

この単元の最後には、町の地図を自由につくって友達と案内し合う活動がある。自分が考えたことが伝わる喜びやクイズのような楽しさを感じる活動である。一方で、movie theaterなどの場所を表す言葉、go straightなどの案内の言葉、It's on your right.などの位置を表す言葉など、様々な言葉を聞き取り、使っていく必要がある。何度かこの単元を指導し、最後の活動を充実したものにするためには、特に位置を表す言葉（前置詞）を使えることが重要であるということに気付いた。位置を表す言葉は、日本語と英語では使う場所が反対（「椅子の下」と「under the chair」）であるため、使い慣れるまでに繰り返しの活動が必要であった。「指導者用デジタル教科書（教材）」では、楽しみながら位置を表す言葉（前置詞）について学習する活動があり、載っている問題の他にも様々な工夫ができる。また、デジタル教科書活用後に他の活動をすることによって、実感を伴った活動になっていく。学んだことを自分のものにしていくために、どのようにデジタル教科書を活用したのかを以下で紹介していく。

## 本時（第2時）の展開

	活動内容	デジタル教科書・教材の活用
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教科書（教材）」の初期画面を開いて、コンテンツを起動する。</li> </ul> <p>あいさつ（2分）</p> <p>めあての確認（1分）</p>	

活動内容		デジタル教科書・教材の活用
導入	<p><b>Let's Say It Together (2分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>単元のゴールに繋がる表現に加え、人との良好なコミュニケーションに繋がる会話も入っているので、言えるところを増やしていく。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>一つの文が長いので、単元の最初では、「ゆっくり」を選択し、安心して学習を進められるようにする。</li> </ul>
展開	<p><b>Let's Watch (5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前時のふりかえりとして、場面と道案内の表現を確認する。</li> </ul> <p><b>Let's Listen 1 (15分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>描かれているものを確認する。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>活用：道案内の繰り返しのところで、音声に続いて言う。</li> </ul> 
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「指導者用デジタル教科書（教材）」の「絵カードじてん」を活用したり、実際に箱とボールで位置関係を見せたりしながら、前置詞を使った表現に注意を向けさせる。</li> <li>一問ずつ丁寧に取り組み、答えを確認する。</li> </ul>	 <ul style="list-style-type: none"> <li>活用：「絵カードじてん」には、「フラッシュカード」「いらっしゃる」「クイズ」などのモードがあるので、実態に応じて使い分ける。</li> </ul>

活動内容		デジタル教科書・教材の活用
	<p><b>Let's Listen 2 (5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● A～Dの場所を表すためにそれぞれどのような前置詞、どのような表現が聞こえそうかを確認する。</li> <li>● 一問ずつ取り組み、答えを確認する。</li> <li>● 教科書のイラストを活用し、新たな問題に取り組む。</li> </ul>	 <p>● 活用：この場面を用いて新たな問題を作り、前置詞の使い方に慣れさせる。</p>
展開	<p><b>前置詞を使った活動 (5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 教師と児童で同じもの（例：教科書、ノート、筆箱）を机に置き、消しゴムを指示どおりに置かせる。 T : Put your eraser on your textbook. C : 教科書の上に、消しゴムを置く。</li> <li>● 教師と児童とで活動ができたら、ペアで活動させる。</li> </ul> <p><b>ジングル・コーナー (V) (5分)</b></p>	 <p>● Smilesポケットのジングル等を活用し、アルファベットの文字と音のまとめをしていく。</p>
まとめ	<p><b>ふりかえり (5分)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本時で学んだこと、わかったことをふりかえり、記入する。</li> </ul>	

## 指導者用デジタル教科書(教材)を活用したことで得られた効果

本時では、「指導者用デジタル教科書(教材)」の活用により、まずは、一斉学習で基本的な表現を習得させる。その後、身の回りのものを用いた活動で、学んだことをより自分のものにしていく、ペア活動で学びを深めていく。ペア活動時の机間指導によって児童のつまずきを把握し個別の指導を行うことにより、前置詞の使い方をより確かに身に付けることに繋げる。アルファベットの学習については、26文字のまとめの時期であり、ジングル等を用いて学びの積み重ねを実感しながら学習することができる